

活動状況報告書

1 事業名称 「カレーを食べる会」 事業

2 実施主体

■ 団体名： 五番街ふれあいセンター

3 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

「カレーを食べる会」の実施。

日 付	作 業 内 容
平成 28 年 4 月 22 日 (金)	「筍ごはん」「煮込みハンバーグ」「いちごケーキ」
5 月 26 日 (木)	「懐かしチキンカレー」「コロッケ」「白玉ぜんざい」
6 月 23 日 (木)	「ポーク雑穀カレー」「和風サラダ」「杏仁豆腐」
7 月 28 日 (木)	「キーマカレー」「三色サラダ (中華ドレッシング)」「西瓜」
8 月 26 日 (金)	「冷製カレーうどん」「マーボ茄子」「水羊羹」
9 月 23 日 (金)	「きのこカレー」「冬瓜のそろぼ煮」「ぶどう」
10 月 27 日 (木)	「ドライカレー」「揚げだし豆腐 (茸あん)」「シフォンケーキ」
11 月 24 日 (木)	「ビーフカレー」「蓮根サラダ」「芋ようかん」
12 月 16 日 (水)	「つくね鍋 (カレー味)」「ゆかりで中巻き」「煮りんご」
平成 29 年 1 月 27 日 (金)	「チキンカレー」「卵の花 (おから)」「スイートポテト」
2 月 23 日 (木)	「きのこハヤシカレー」「バンバンジー」「ヨーグルト」。
3 月 24 日 (金)	「カレーシチュー」「ほうれん草のベーコン炒め」「桜餅」。

※上記のメニュー調理活動以外に、会場作り、片づけ作業。反省会を実施。

※事前の出欠確認作業。(見守り活動手順の確立。)

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

①月に一回の開催は、計画通り毎月実施出来た。

参加者数は計画 600 名（50 名/回）が 792 名（66 名/回）を達成しました。

②事前出欠確認作業を次の手順で行い、見守り活動としている。

<手順>

- ・月初めに出席票を配布。
- ・締切日までに回答のない場合は、電話、訪問で確認。
- ・直前（2 日前）出席の確認文を配布。
- ・当日、来ない参加者には、再度電話、訪問で確認。

最近では、会を重ねるごとに、食後の懇談が活発になった。

各席にスタッフが付き、生活の近況を話し合い見守りに役立っている。また、会員とスタッフの信頼関係が生まれて、介護保険等の相談を受けるようになった。

更に月毎に誕生会を始めた、誕生月の対象者を皆で歌（ハッピーバースデー）を歌って祝い、記念撮影を行う。翌月には、写真立にセットしてお渡ししている。大変喜んでもらっている。

拡大会員が 7 夫婦増えたので男性の参加も目立つようになった。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

①近隣地域への「見守り活動」を普及する活動に応じて、ファミリーハイツ（新松戸のマンション）へ平成 28 年 6 月より「見守り活動」団体が発足して、活動を開始されました。

また「カレーを食べる会」方式の食事会も開始されました。

②「カレーを食べる会」での顔の見える見守り活動から、災害時の安否確認、支援活動へ繋げるために、五番街自主防災組織の避難・介護班へ「五番街ふれあいセンター」が登録されて安否確認、支援活動を担うことになった。また、平成 28 年 12 月の「餅つき大会」から、「救護班」を新設して担当することになった。

5 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

- ①更に、新松戸地域へ「カレーを食べる会」方式の見守り活動を普及できるような活動を展開する。
- ②平成29年3月に行われる住民台帳更新に合わせて、「カレーを食べる会」会員（単身者）拡大会員（夫婦）の更新を行う。
新規の会員、拡大会員を開拓する。
- ③会員、拡大会員に登録されない方々の見守り方法を検討する。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	五番街ふれあいセンター拠出金	¥ 82,000	¥ 67,584	¥ 14,416	
	寄附金	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	事業収入	¥ 216,000	¥ 237,600	¥ ▲21,600	300円*792人(参加料)
	自己資金の合計額(A)	¥ 298,000	¥ 305,184	¥ ▲7,184	
市	市民活動助成金(B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額(C) = (A+B)		¥ 398,000	¥ 405,184	¥ ▲7,184	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の 交付対象経費	食糧費	¥ 240,000	¥ 183,733	¥ 56,267	食材購入代金
	印刷製本費	¥ 12,000	¥ 31,280	¥ ▲19,280	理事会印刷機使用代金
	消耗品費	¥ 40,000	¥ 54,497	¥ ▲14,497	食器・スプーン・箸等代金
	消耗品費	¥ 22,000	¥ 45,901	¥ ▲23,901	PCプリンターインク代金
	通信費	¥ 36,000	¥ 40,137	¥ ▲4,137	固定電話代金
	保険料	¥ 0	¥ 8,000	¥ ▲8,000	検便代金
		対象経費の合計(D)	¥ 350,000	¥ 363,548	¥ ▲13,548
(その他 対象外経費)	食糧費	¥ 48,000	¥ 0	¥ 48,000	
	交通費	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	器具購入費	¥ 0	¥ 41,636	¥ ▲41,636	炊飯器・番重・ステンレスレードル等
	その他経費の合計額(E)	¥ 48,000	¥ 41,636	¥ 6,364	
合計額(F) = (D+E)		¥ 398,000	¥ 405,184	¥ ▲7,184	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名

五番街ふれあいセンター

代表者氏名

会長 土橋 育郎

収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	五番街ふれあいセンター拠出金	¥ 67,584		
	寄付金	¥ 0		
	事業収入	¥ 237,600	300円*792人	参加者は、累計 792名 (平均66名)
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合 計 額		¥ 405,184		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項 (用途など)
助成金の交付対象経費	1. 食糧費	¥ 183,733	カレー食材 96,109円 その他 89,591円	食材購入費用
	2. 印刷費	¥ 31,280	80円×12回×30円=28,800円 31枚×4回×20円=2,480円	ランチョンマット・ポスター印刷代金
	3. 消耗品	¥ 54,497	容器代 36,321円 その他26,824円	使い捨て食器・箸・スプーン等
	4. 消耗品費	¥ 45,901	4,880円、10,280円、 10,247円、20,494円	PCのプリンターのインク代金
	5. 通信費	¥ 40,137	事務所固定電話代金 40,137円	固定電話代金 (047-344-4410)
	6. 保険料	¥ 8,000		検便代金
	対象経費の合計	¥ 363,548		
その他経費	食糧費	¥ 0		
	交通費	¥ 0		
	器具の購入費	¥ 41,636		炊飯器・番重・ステンレスジャグ・レードル等
	その他経費の合計	¥ 41,636		
合 計 額		¥ 405,184		

活動状況報告書

1 事業名称 「認知症に備える」為の啓発活動事業

2 実施主体

■ 団 体 名： 介護・認知症の家族と歩む会・松戸

3 事業の実施内容

A講座 「認知症を学ぶ」《情報と知識》・・・認知症パートナー

B講座 ワークショップ「ことばの力」《人を支える》・・・地域パートナー

C講座 ワークショップ「ときめいて生きる」《前向きに生きる》

I 認知症講座の実施

日 付	作 業 内 容
	2ヶ月前に広報・ミニコミ紙等に開催告知掲載依頼 チラシ印刷
	1ヶ月前にチラシポステイング
	講座の実施 市民センター等
	4月5日・火 認知症講座・A・相談会 まつど市民活動サポートセンター 8名 12日・火 認知症講座・A・相談会 まつど市民活動サポートセンター7名 17日・日 認知症講座・A 東葛健康管理士会 千葉市薬剤師会館 17名 5月 3日・火 認知症講座・A 松戸市倫理法人会 14名 26日・木 認知症講座・A・交流会 プロムナード北松戸 集会室 6月18日・土 認知症講座・A 新松戸市民センター 6名 24日・金 認知症講座・A・B 聖徳大学 学生8名・市民11名・職員2名 7月16日・土 認知症講座・A・相談会 プロムナード北松戸 集会室 9名 29日・木 認知症講座・A・相談会 まつど市民活動サポートセンター 10名 9月29日・木 (仮)市民相談会・A 三世院 8名 10月21日・金 認知症講座・A 東京新聞 松戸サポートセンター 8名 31日・月 市民活動講座・A・B聖徳大学(学生6名・市民11名・職員3名) 11月9日水 市民活動立ち上げ講座A 聖徳大学(学生6・市民10・職員1名) 30日・水 市民活動立ち上げ講座・A・B 聖徳大学(学生6・市民4・職員2) 12月7日水 市民活動立ち上げ講座A・B聖徳大学(学生6・市民6名・職員3) 14日・水 市民活動立ち上げ講座・C・A聖徳大学(学生6・市民6・職員3) 1月11日・水 認知症講座・B・A 聖徳大学(学生8名・市民5名・職員1) 18日・水 認知症講座・B・A 聖徳大学(学生8名・市民5名) 2月 4日・土 市民相談会・A 三世院 4名 3月 2日・木 認知症講座・A まつど市民活動サポートセンター 12名 27日・月 地域交流会・A・B 聖徳大学(学生8名・市民9名・職員3名)

Ⅱ ワークショップの実施（相談会・交流会・おしゃべり広場）

日 付	作 業 内 容
	3ヶ月前 会場下見
	2ヶ月前 チラシの印刷
	1ヶ月前 チラシポスティング 個人宛てに案内(ハガキ等)
	開催 市民センター・民間施設等
	4月8日・金 認知症講座・B・交流会 松戸ファミリーユ 集会室 4名
	14日・木 認知症講座・B 松ヶ丘自治会館 28名
	5月6日・金 認知症講座・C・B 聖徳大学 学生8名・市民6名
	18日・水 認知症講座・B 武里団地役員会 12名
	6月14日・火 (仮) おしゃべり広場・C 北小金・イオン 3名
	16日・木 認知症講座・C 馬橋市民センター 12名
	24日・金 認知症講座・A・B 聖徳大学 学生8名・市民11名・職員2名
	29日・水 認知症講座・B 明市民センター9名
	7月17日・日 認知症講座・C・交流会 リハプラザ きたこがね 7名
	21日・木 認知症講座・B まつど市民活動サポートセンター 8名
	8月 4日・木 (仮) おしゃべり広場・C 北小金・イオン 5名
	18日・木 相談会・C まつど市民活動サポートセンター 5名
	9月20日・火 市民活動講座・C・B 聖徳大学 学生7名・市民4名
	23日・金 認知症講座・B 明市民センター8名
	27日・火 市民活動講座・C・B 聖徳大学 学生7名・市民4名・職員2名
	28日・水 (仮) おしゃべりカフェ・B サイゼリア八柱店 5名
	10月11日・火 (仮) おしゃべり広場・C 北小金・イオン 3名
	18日・火 (仮) おしゃべりカフェ・C サイゼリア北松戸 3名
	31日・月 認知症講座・相談会・C 常盤平市民センター 14名
	31日・月 市民活動講座・A・B 聖徳大学(学生6名・市民11名・職員3名)
	11月16日水 市民活動立ち上げ講座B 聖徳大学(学生6・市民13・職員2)
	17日・木 ソーシャルビジネス講座B まつど市民活動サポートセンター7名
	22日・火 ソーシャルビジネス講座・B まつど市民活動サポートセンター7名
	29日・火 認知症講座・C まつど市民活動サポートセンター 12名
	30日・水 市民活動立ち上げ講座・A・B 聖徳大学(学生6・市民4・職員2)
	12月2日・金 (仮) おしゃべりカフェ・B ガスト古ヶ崎 2名
	7日・水 市民活動立ち上げ講座・A・B 聖徳大学(学生6・市民6名・職員3)
	14日・水 市民活動立ち上げ講座・C・A 聖徳大学(学生6・市民6・職員3)
	18日・日 相談会・B プロムナード北松戸 集会室 3名
	1月 7日・土 市民相談会・C 三世院 6名
	11日・水 認知症講座・B・A 聖徳大学(学生8名・市民5名・職員1)
	18日・水 認知症講座・B・A 聖徳大学(学生8名・市民5名)

	3月4日・土 市民相談会・B 三世院 7名 9日・木 認知症講座・C まつど市民活動サポートセンター 10名 16日・木 おしゃべりひろば・B ヤオコー稔台 4名 27日・月 地域交流会・A・B 聖徳大学 (学生7名・市民8名・行政職員4名)
--	--

Ⅲ 関連大学での講座実施（認知症・地域活動等）

日 付	作 業 内 容
	半年前 企画打合せ
	2ヶ月前 個人宛てに案内(ハガキ等)
	開催 大学
	5月6日・金 認知症講座・C・B 聖徳大学 学生8名・市民6名 6月24日・金 認知症講座・A・B 聖徳大学 学生8名・市民11名・職員2名 9月20日・火 市民活動講座・C・B 聖徳大学 学生7名・市民4名 27日・火 市民活動講座・CB 聖徳大学 学生7名・市民4名・職員2名 10月31日・月 市民活動講座A・B 聖徳大学 (生6名・市民11名・職員3名) 11月9日水 市民活動立ち上げ講座A 聖徳大学 (学生6・市民10・職員1) 16日水 市民活動立ち上げ講座B 聖徳大学 (学生6・市民13・職員2) 30日・水 市民活動立ち上げ講座・A・B 聖徳大学 (学生6・市民4・職員2) 12月7日水 市民活動立ち上げ講座A・B 聖徳大学 (学生6・市民6・職員3) 14日・水 市民活動立ち上げ講座・C・A 聖徳大学 (学生6・市民6・職員3) 1月11日・水 認知症講座・B・A 聖徳大学 (学生8名・市民5名・職員1) 18日・水 認知症講座・B・A 聖徳大学 (学生8名・市民5名) 3月 27日・月 地域交流会・A・B 聖徳大学 (学生8名・市民7名・行政職員2名・職員2名)

Ⅳ 手賀沼春夏秋冬(三世代交流)実施

自然に優しい人は 人に笑顔をくれる」柏市の豊かな自然を、多くの人に満喫していただきたい 白鳥の親子 手賀沼の朝日と夕日一緒に熱く楽しみたい人 手伝ってください 夏休み お子さんとお孫さんと おばあちゃんも おじいちゃんも たまには、ご夫婦で、自分の街の良さを 我孫子の人も 松戸の人も 野田の人も 流山の人も 印西市・白井市・鎌ヶ谷市今年の夏休みは 「手賀沼の春夏秋冬」においでください この写真展は、手賀沼の美しさを多くの市民に満喫していただくことは勿論ですが、普段は、あまり家から出掛けない方が、ご家族やお友達とご一緒に会場に足を運んでもらえたら～ 皆さんとお話する機会も出来たら～

日 付	作 業 内 容
	半年前 企画打合せ 会場確保
	3ヶ月前 市広報・新聞社・ミニコミ紙等掲載依頼
	2ヶ月前 ポスターチラシ行政機関等掲示依頼
	<p>開催 美術サロン</p> <p>8月9日・火 手賀沼の春夏秋冬（写真展と解説）相談会・交流会</p> <p>10日・水 手賀沼の春夏秋冬（写真展と解説）相談会・交流会</p> <p>11日・木 手賀沼の春夏秋冬（写真展と解説）相談会・交流会</p> <p>12日・金 手賀沼の春夏秋冬（写真展と解説）相談会・交流会</p> <p>13日・土 手賀沼の春夏秋冬（写真展と解説）相談会・交流会</p> <p>14日・日 手賀沼の春夏秋冬（写真展と解説）相談会・交流会</p> <p>参加者 松戸130名</p> <p>柏240名 流山30名 印西50名 白井30名</p> <p>鎌ヶ谷30名 その他40名</p>

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

目標にしていた講座等の開催についてはほぼ達成できた。しかし計画していた地域での開催は、市民センターの確保が難しく計画通りに達成できなかった。それに起因して市広報紙等の掲載が出来ず、十分な広報活動が出来なかった。しかし、おしゃべり広場や大学の協力により、ある程度補うことが出来た。不安を抱えている人が非常に多いこと、それだけに我々の活動への強い期待を実感させられた。

(2) 事業課題の解決について

「認知症に備える」、為に必要な情報を提供する講座 2「地域で支える為の」講座・ワークショップ・相談会・交流会等について「講座」39回、「交流会」11回、「相談会」20回、「おしゃべり広場」7回、の開催が出来、様々な想いと経験を持った9人ものメンバーが地域内で活動に力をくれることになりました。

S：暴力的認知症の夫の在宅介護決めた60代女（名戸ヶ谷）O：既に地域のSOSに関わっている町会役員70代男（小金）F：認知症在宅介護経験者70代女（三矢小台）S：施設職員学生20代女（常盤平）T：遠方の認知症の両親の介護40代女（新松戸）Y：看取り看護師40代女（五香）I：障害の有る妻と生活60代男（幸田）E：うつ病夫婦40代（大谷口）

5 今後の事業展開

「認知症に備える」そのためには正しい知識・情報の発信が地域の人々の間で行われることが必要と考えて活動しています。専門職や行政の窓口を頼る前に市民同士が支え合う環境づくりを目指しています。

講座等参加者から周囲への発信が最大の効果と考えています。参加者がおしゃべり広場(ショッピングモール)などの中心となって定期開催(月 2 回程度)を計画中です。現時点で寺院・集合住宅の集会室等から申し入れも頂いています。

「おしゃべり広場開催は社会福祉協議会に会場の提供依頼も考慮中。

～地域で暮らす誰もが集まり、ふらっと立ち寄って、「ホッ」と一息つける時間を過ごす。嬉しい事、楽しい事、ワクワクすることも……。お茶を飲みながらなんとなく誰かに話したくなる。嬉しい話を聞いてもらえる。介護の疲れ、子育てのこと、家事や仕事の疲れ……。も聞いてもらえる。誰でも話を聞いてもらえる。一人ぼっちで来ても、おしゃべりができる。そんな場所があったらいいなあ～。それがおしゃべり広場です。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	本部事業費	¥ 10,000	¥ 23,050	¥ ▲13,050	拠出金
	支援会費	¥ 5,000	¥ 3,000	¥ 2,000	1000円×3人 支援会費
	事業収入	¥ 30,000	¥ 24,000	¥ 6,000	500円×48人 (参加料)
	協賛金	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ 0	(フリーマーケット・物品販売等より)
	自己資金の合計額 (A)	¥ 65,000	¥ 70,050	¥ ▲5,050	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 165,000	¥ 170,050	¥ ▲5,050	

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 15,000	¥ 26,000	¥ ▲11,000	外部講師謝礼 3000円×2人 5000×1人 15000×1人
	印刷製本費	¥ 25,000	¥ 24,115	¥ 885	広報チラシ・ポスター・パンフの印刷代 50円/一原稿 A3カラー20円/枚
	消耗品費	¥ 38,000	¥ 40,035	¥ ▲2,035	チラシ・資料用紙A4・白・カラー A3・インク 17本
	通信費	¥ 40,000	¥ 53,320	¥ ▲13,320	ハガキ710枚 切手200枚
	使用料	¥ 30,000	¥ 6,570	¥ 23,430	会場使用料 (サポートセンター他)
				¥ 0	
		対象経費の合計 (D)	¥ 148,000	¥ 150,040	¥ ▲2,040
(その他経費)	交通費	¥ 15,000	¥ 15,000	¥ 0	
	雑費	¥ 2,000	¥ 1,014	¥ 986	
	広告費	¥ 0	¥ 3,996	¥ ▲3,996	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 17,000	¥ 20,010	¥ ▲3,010	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 165,000	¥ 170,050	¥ ▲5,050	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥	-
-----	---	---

団体名 介護・認知症の家族と歩む会・松戸

代表者氏名 世話人代表 北川 邦彦

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	本部事業費	¥ 23,050		拠出金
	支援会費	¥ 3,000		1,000円×3人 支援会員
	事業収入	¥ 24,000		500円×48人 (参加料)
	協賛金	¥ 20,000		(フリーマーケット・物品販売等より)
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 170,050		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項 (用途など)
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 26,000	3000×2 5000×1 15000×1	外部講師謝礼
	印刷製本費	¥ 24,115	50円/一原稿 A3 カラー20円/1枚	広報チラシ・ポスター・パンフの印刷代
	消耗品費	¥ 40,035	A4白・カラー A3 インク17本	チラシ・資料用紙
	通信費	¥ 53,320	ハガキ710枚 切手200枚	講座等の案内
	使用料	¥ 6,570	サポートセンター 3,150円 他3,420円	会場使用料 (サポートセンター他)
	対象経費の合計	¥ 150,040		
	その他経費	交通費	¥ 15,000	
その他経費	雑費	¥ 1,014		
その他経費	広告費	¥ 3,996		
その他経費	その他経費の合計	¥ 20,010		
合計額		¥ 170,050		

活動状況報告書

1 事業名称 健常児・障がい児ミックス型共育を楽しむ事業

2 実施主体

■ 団 体 名： 共育ステーション 地球の家

3 事業の実施内容

【1】 「健常児・障がい児ミックス型共育を楽しむ」を広く伝えるための
パンフレット作成&配布

日 付	作 業 内 容
4月21日	パンフレット印刷
4月～2017年2 月末日	パンフレット配布（イベント参加者、市民センターなど公的施設、子育て広場、松戸市内商業施設など）

【2】 イベント『春のライアーコンサート&バルーンアートで共育を楽しもう！』
の実施

日 付	作 業 内 容
4月1日 ～4月24日	イベントPR活動（ブログ、FB、ツイッター、チラシ）
4月17日	イベント打ち合わせ2
4月24日	イベント実施 会場：オーガニックサロン きれいのたね 講師1：宮田美岳氏（ライアー奏者） 講師2：瀬田祐樹氏（バルーンアートパフォーマー） 参加者22名（おとな10名・子ども12名）

【3】 イベント『プロの声優さんによる童話朗読会&共育を楽しむための
トークカフェ！』の実施

日 付	作 業 内 容
4月15日	まつど市民活動サポートセンターを通じて広報まつど掲載 依頼（6月1日号）
5月9日、	チラシ印刷
5月3日 ～6月26日	イベントPR活動 （ブログ、FB、ツイッター、チラシ、広報まつど6/1号）

6月26日	イベント実施 会場：まつど市民活動サポートセンター 講師：桜井悠子氏（声優・フクロウのろうどく会所属） 参加者13名（おとな8名・子ども5名）
-------	---

【4】 イベント『子どもの心と可能性が見つかる！親子のアートワーク』の実施

日付	作業内容
5月13日	イベント打ち合わせ
6月	広報まつど 掲載依頼（8月1日号）
6月16日	チラシ印刷
6月24日 ～8月7日	イベントPR活動 （ブログ、FB、ツイッター、チラシ、広報まつど）
8月7日	イベント実施 会場：オーガニックサロン きれいのたね 講師：吉岡 佑珠氏 （ファミリー心理カウンセラー・マインドパワー&ハッピーマジック主宰） 参加者21名（おとな8名・子ども13名）

【5】 イベント『ばなな先生の自分は自分でいい！を見つける 親子自分科講座 & 共育トークカフェ』の実施

日付	作業内容
7月5日	イベント打ち合わせ
9月5日	広報まつど 掲載依頼（10月15日号）
9月16日	チラシ印刷
9月27日 ～11月6日	イベントPR活動 （ブログ、FB、ツイッター、チラシ、広報まつど）
10月30日	イベント打ち合わせ2
11月6日	イベント実施 会場：オーガニックサロン きれいのたね 講師：小堀 雅多加氏（自分科塾「ばなな塾」主宰） 参加者17名（おとな11名・子ども6名）

【6】 イベント『たたいて・あそんで・つながる！ドラムサークル』の実施

日付	作業内容
11月24日	イベント打ち合わせ
12月14日	広報まつど 掲載依頼（2月1日号）
12月20日	チラシの印刷
12月29日 ～2月5日	イベントPR活動 （ブログ、FB、ツイッター、チラシ、広報まつど）

2月5日	イベント実施 会場：森のホール21 音楽練習室1 講師：佐々木 薫氏 (DRUMAGIK 代表) 参加者31名 (おとな18名・子ども13名)
------	---

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

○ブログ、FB、ツイッター、チラシ、パンフレット、広報まつどの利用で、本事業のイベントや、地球の家の普通の健常児・障がい児ミックス共育の活動をより多くの方に知っていただくことができました。

○イベント参加者や、本事業のパンフレットを見た方に、健常児と障がい児が、同じ空間で学び合う手法の存在が認知され、社会的・教育的多様性の必要性を訴えることができました。

○障がい児の普段の様子を知る機会が少ない地域住民と、障がい児・障がい児家族が、ごく自然な形で触れ合うことのできる機会を設けることができました。

2017年2月5日実施 ドラムサークル参加者感想

「今日初めて参加させていただきました。子どもがこんなに楽しそうにするなんて驚きでした。楽器が好きなのだと、新しい発見でした。大人も子どももすごく楽しかったです。ありがとうございました」

<数値目標>

【1】パンフレットの配布数 600部 → 2017年2月までにすべて配布
パンフレットを見た方の感想

「本当に素敵な内容が書かれている」「自分の中学生時代にクラスに障がいを持った子がいたが、パンフレットの子育てのコツを読んで、障がいを持った人との接し方のコツは本当にその通りだなと思った」「共育という言葉にとっても共感する」

全体的にとっても好意的な感想を寄せていただいた。

【2】イベント動員数

目標：参加者90名

結果：参加者104名 (おとな55名・子ども49名)

(2) 事業課題の解決について

課題 1

「健常児・障がい児の交流の機会の長期継続」

課題 2

「地域住民の温かな協力を得て、障がい児を複数の大人たちの手で育ていく
コミュニティづくり」

課題 1・課題 2ともに、非常に大きな課題であるため、1年間で解決できるものではなく、課題解決のための幾つかのきっかけづくりができた、というのが本事業の成果である。

普段、障がい児と接する機会がほとんどない人が、「正直どのように接すればよいのかわからない」という戸惑いを持つことは多いが、イベント参加という機会を通して、その日に直接の触れ合いがなかったとしても、障がい児の日常の言動を目の当たりにして、「普通の子どもの付き合い方と変わらない部分も確かにある」ということを知り、心の垣根を低くするきっかけづくりができたと考える。

5 今後の事業展開

今回の事業を通して、子どものサポートに関わる松戸市内の各団体との繋がりが持つことができた。

一つの団体でできることには限りがあるので、今後は他の団体と協働しながらイベント等を開催し、健常児・障がい児ミックス型共育を楽しむ手法を今後も広げていきたい。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

作成日 2017/2/27

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	共育ステーション 地球の家 団体拠出金	¥ 20,250	¥ 13,188	¥ 7,062	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 90,000	¥ 79,800	¥ 10,200	参加費収入 2500×1 2000×4 1500×4 1000×41 800×21 500×11
	自己資金の合計額 (A)	¥ 110,250	¥ 92,988	¥ 17,262	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 90,000	¥ 90,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 200,250	¥ 182,988	¥ 17,262	

【事業費の支出額(支出)】

科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 40,000	¥ 69,500	¥ ▲29,500	講師謝礼
	報償費	¥ 40,000	¥ 11,000	¥ 29,000	保育サポーター謝礼
	印刷製本費	¥ 18,300	¥ 18,235	¥ 65	パンフレット印刷代
	印刷製本費	¥ 10,200	¥ 5,390	¥ 4,810	イベントチラシ印刷代
	食糧費	¥ 440	¥ 272	¥ 168	講師お水代
	食糧費	¥ 6,000	¥ 9,211	¥ ▲3,211	茶菓子代
	消耗品費	¥ 7,710	¥ 7,145	¥ 565	用紙代、インク代
	使用料	¥ 32,000	¥ 26,910	¥ 5,090	会場使用料
	通信費	¥ 600	¥ 1,725	¥ ▲1,125	切手代
	対象経費の合計(D)	¥ 155,250	¥ 149,388	¥ 5,862	
その他経費	スタッフ交通費	¥ 15,000	¥ 0	¥ 0	
	ボランティアスタッフ謝礼	¥ 30,000	¥ 33,600	¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 45,000	¥ 33,600	¥ 11,400	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 200,250	¥ 182,988	¥ 17,262	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 共育ステーション 地球の家

代表者氏名 代表 熊谷 亜希子

収支内訳書

【事業費の収入額】

作成日 2017/3/12

科目		金額	内訳	摘要
団体	共育ステーション 地球の家 団体拠出金	¥ 13,188		
	事業収入	¥ 79,800		
市	市民活動助成金	¥ 90,000		
合計額		¥ 182,988		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 69,500	5,000円～24,500円 *6名	講師謝礼 宮田美岳氏5,000円 他5名
	報償費	¥ 11,000	2,000円～5,000円 *3名	保育謝礼 富田友樹氏 2,000円 他2名
	印刷製本費	¥ 18,235	18,235円×1件	パンフレット印刷 600枚
	印刷製本費	¥ 5,390	1,140円、1,880円 1,230円、1,140円	チラシ 500枚 (6/26・8/7・11/6・2/5実施分)
	食糧費	¥ 272	(4/24に172円) (8/7に100円)	講師水代2回分(4/24・8/7実施分)
	食糧費	¥ 9,211	(4/24に1,535円、740円) (6/26に324円、432円、1,561円、600円、1,143円) (11/6に1,939円、937円)	お茶菓子代3回分 (4/24・6/26・11/6実施分)
	消耗品費	¥ 7,145	4,650円、321円、822円 108円、216円、432円 432円、164円	インク代、コピー用紙代 ほか
	使用料	¥ 26,910	8,000円×3件 2,050円、860円	会場使用料 きれいのたね7階ホール ほか
	通信費	¥ 1,725	250円×3点、205円×3点 360円	切手および郵便物
対象経費の合計		¥ 149,388		
その他経費	ボランティアスタッフ謝礼	¥ 33,600	4,500円～9,000円	イベント5回分
	その他経費の合計	¥ 33,600		
合計額		¥ 182,988		

活動状況報告書

1 事業名称 子どもと高齢者の交流事業

2 実施主体

■ 団 体 名： 子どもの未来を考える会

3 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

あそびのひろばの実施

日 付	作 業 内 容
6月16日	当日のあそびの内容の検討、チラシの準備
6月29日	小学校への依頼
6月30日	チラシの印刷、配布 市役所に配架依頼 教育委員会に後援依頼
7月7日	事業企画打ち合わせ（役割分担） サンプルの作成、クイズの考案、当日の道具類の準備
7月28日	ボランティアさん達への説明会（3名参加）
8月3日、9日	あそびのひろばの実施、反省会（8/3：子ども57名、スタッフ21名 8/9：子ども46名、スタッフ16名 その他保護者各日8名程度付き添いで参加）
8月14日	アンケートのまとめの作成と配布
3月2日	チラシの内容決定、ボランティアさんへの講習や準備の日程の決定 小学校へチラシの内容説明
3月6日	チラシの印刷、配布 市役所に配架依頼 教育委員会に後援依頼
3月21日	ボランティアさん達への説明会（6名参加）
3月28日	あそびのひろばの実施、反省会（子ども114名、スタッフ20名 その他保護者各日10名程度付き添いで参加）

※ あそびのひろばは夏・春ともに馬橋市民センター3Fホールにて開催

※ 別事業として講演会（年4回）と居場所活動（於相川町事務所：毎週火曜日 午前・高齢者「こみか元気くらぶ」→介護制度改革課事業 午後・小学生「こみかる〜む」）を実施 その他馬橋小学校の秋のイベントにも客員として参加

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

今年は協力校を二校に増やしたことで、対象となるエリアが広がり、チラシを受け取る子供の数も昨年の二倍近くになったが、参加者は二倍にもならなかった。市役所にチラシの配架を依頼したこともあって遠方からの参加もあった。

今年は二年目ということで、夏の二日目は物を作るだけでなく一緒に遊ぶ時間を設けたり、皆が知っているような遊びのブースを設けることで、高齢ボランティアと子どもとがうまく交流を図ることができた。

春は予想をかなり上回る人数の子供達が来たが、その多くがスライムの作成を目的にきており、手順を説明し、学年ごとに順番に作ってもらうようお願いするときちんと並んで待っていてくれたので、特に混乱はなかった。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

あそびのひろばは子どもとの出会いの場であり、その次の居場所に子供をつなげるということが本命の課題であったが、夏のイベントの際に居場所が毎日開いているわけでない子供に言うところとちょっとがっかりした様子で、イベント後の居場所に子供が繋がらなかった。

その後数回事務所にて工作やおはなし会を実施したところ、夏のイベントに参加した子供が何名か来てくれたが、特にそうしたイベントを設けないと中々ふらっと子供がやってくることは少なかった。

ただ、高齢ボランティアとのかかわりという点では、「物忘れがひどくなって自分はもう迷惑ばかりかけるようになった」と嘆いていた方も子供に遊びを教えてください、「自分に一体何ができるかと思っていたけど楽しめた」と喜んでくださった。

また別の方であるが、子育て経験を生かして子供を納得させて次の行動に移らせることの重要性をスタッフに教えてくださったり、なるほどと思える意見を言っていたりして、あそびのひろばを実行する上で頼もしい存在になってくださっている。

更に夏のあそびのひろばをやったことで、秋には協力校の馬橋小学校のPTAのイベントに参加依頼を受け、そこでも高齢ボランティアとスタッフで子供と楽しく遊ぶ時間を設けることができた。

春のあそびのひろばではスタッフとして直前の講演会でボランティア登録して下さった方や、賛助会員の方、寄付して下さった方も入り、色々な方たちに今の子どもの姿を見ていただくことができた。

子どもの方も顔を覚えていてくれたのか、気さくに話しかけてきたり、ふざけてきたりとフランクにふれあってくれたので、今後もっと“顔の見える関係”にしていきたい。

総じて28年度はメインは小学校の中学年であったが、未就学の幼児や高齢者も入っての幅広い年代の交流を図ることができた。

5 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

こみかのあそびのひろばというイベントが地域に定着しつつあり、団体の地名度も上がって来た。特に昨年初めて参加した馬橋小学校のイベントでは、急な参加にも関わらず、理事3名と高齢ボランティア3名で一つのポジションを受け持ち、『子どもの未来を考える会（こみか）』さんという存在が認められるいいきっかけになったと思う。

来年度はこうした場で顔見知りになった子どもともっと仲良く遊べるような内容を考案したり、流通経済大の学生さんのボランティアさんにも協力依頼して、より幅広い年代や立場の人が自然につながっていくきっかけにしていきたい。

特に春のあそびのひろばではかなり規模が大きくなってきたので、大学の方にも相談して施設を利用させてもらったり、円滑なイベントの実施に向けた工夫を考えていきたい。

また他の事業とも相互に絡めつつ、相乗効果が期待できるように展開したい。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 4,700	¥ 5,858	¥ ▲1,158	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	寄附金	¥ 0	¥ 2,000	¥ ▲2,000	当団体への寄附金
	事業収入	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 4,700	¥ 7,858	¥ ▲3,158	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 37,000	¥ 37,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 41,700	¥ 44,858	¥ ▲3,158	

【事業費の支出額(支出)】

科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	印刷製本費	¥ 8,000	¥ 0	¥ 8,000	外注するチラシ等の印刷費
	消耗品費	¥ 2,500	¥ 22,436	¥ ▲19,936	チラシの印刷にかかるトナー代・紙代(自前プリンター使用) スライム用材料費
	使用料	¥ 8,400	¥ 0	¥ 8,400	会場使用料
	食糧費(お茶・紙コップ)	¥ 2,500	¥ 745	¥ 1,755	
	イベント保険	¥ 5,300	¥ 5,100	¥ 200	8/3・9の二日分3000円-保険会社には一年分まとめ払い(一人当たりの計算で算出: 30円*100名) 3/28分は30円×70名で2100円
	講師謝礼	¥ 15,000	¥ 15,000	¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
対象経費の合計(D)		¥ 41,700	¥ 43,281	¥ ▲1,581	
(その他経費)	送料等	¥ 0	¥ 1,577	¥ ▲1,577	消耗品配送料、コレクト手数料
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 0	¥ 1,577	¥ ▲1,577	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 41,700	¥ 44,858	¥ ▲3,158	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 子どもの未来を考える会

代表者氏名 理事長 佐藤 良治

収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	団体拠出金	¥ 5,858		
	寄附金	¥ 2,000		当団体への寄附金
	事業収入	¥ 0		
市	市民活動助成金	¥ 37,000		
合 計 額		¥ 44,858		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の 交付対象経費	印刷製本費	¥ 0		外注するチラシの印刷費
	消耗品費	¥ 22,436	ストロー、ボール紙、色画用紙、ビニールテープ、マジック、ボンド、スライム用洗濯糊・持ち帰り袋・ブラコップ、工作用紙、ホチキス	チラシの印刷にかかるトナー・紙代、文具（工作用紙等）
	使用料	¥ 0		会場使用料（馬橋市民センター）：公用
	食糧費（お茶・紙コップ）	¥ 745	お茶500mℓ10本	見守り隊/こども用お茶・紙コップ
	イベント保険	¥ 5,100	8月：1500円*2 3月：2100円	8/3・9、3/28の3日分
	講師謝礼	¥ 15,000	一回当たり5000円	折り紙講師 指導料、材料費
	対象経費の合計	¥ 43,281		
その他経費	送料等	¥ 1,577		消耗品配送料、コレクト手数料
	その他経費の合計	¥ 1,577		
合 計 額		¥ 44,858		

活動状況報告書

1 事業名称 公共サインの改善で松戸の街並みをレベルアップする事業

2 実施主体

団体名： 都市環境デザイン学研究室 公共サイン研究会

3 事業の実施内容

I 公共サインに関する講演会・ディスカッションの開催

日付	作業内容
5月31日～7月26日	事業企画打ち合わせ、机上調査
11月15日	講演会打合せ
12月19日	市の広報掲載依頼(2月1日号)
1月10日～15日	チラシの企画及び作成
1月16日	チラシの印刷
1月19日	講演会打合せ・講演会会場下見
1月16日～31日	チラシのPR活動
1月31日～2月3日	講演会打ち合わせ及び準備
2月4日	市民向け講演会『公共サインが活かす松戸の魅力』及びディスカッションの開催、場所：岩瀬自治会館集会所、講師：(株)GK設計 道具デザイン部 部長 功能澄人氏、市民参加者6名(うち1名松戸市都市計画課職員)

II 公共サインの優良事例調査

日付	作業内容
11月1日～8日	事例調査企画打合せ
11月1日～8日	資料収集
11月10日	事例調査(横浜市)：公共サインのみを利用してJR横浜駅から山下公園までの道のりを歩き、横浜市の策定した公共サインデザインガイドラインと実際の公共サインの整備状況の突合、視認性、デザイン性、維持管理状況等の現状把握を行うとともに、公共サインがまち歩きにおいて果たす役割についてディスカッションを行った
11月11～23日	調査結果取りまとめ

Ⅲ 松戸市街の公共サインの問題点・課題抽出

日 付	作 業 内 容
1月10日～13日	調査企画打ち合わせ
1月17日	調査準備
1月18日	松戸市内のフィールドワーク:松戸市観光協会によるまち歩きルート6つを選定し、ルート上にある公共サインの現状把握を行った
1月19日	調査内容取りまとめ、課題抽出

Ⅳ 活動報告書作成

日 付	作 業 内 容
3月10日～20日	平成28年度活動報告書〈全体版〉及び〈概要版〉作成
3月22日	活動報告書〈概要版〉とりまとめ
3月24日～30日	活動報告書〈全体版〉〈概要版〉修正、とりまとめ
3月30日	活動報告書〈概要版〉市内公共施設へ配架

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

当初掲げていた目標の一つである、松戸市の公共サインの現況把握と課題の抽出を行うことができた。松戸市における現況調査を行うだけでなく、公共サインに求められる性能等について机上調査を丁寧に行ったことに加え、松戸市の調査に先行して公共サイン整備の先進事例である横浜市の調査を行ったことにより、松戸市における課題をより把握しやすくなった。また、2点目の目標である、2020年オリンピックを視野に入れた多様な来訪者へ対応できるサイン検討については、具体的なデザインの検討には至らなかったものの、講演会により得た知見や優良事例の調査、メンバー間における松戸市のサインに関するディスカッションを通し、街のイメージアップにつながるサインの在り方を確認することができ、『今よりもっと住みやすい松戸』を実現するための公共サインであるという認識を明確にすることができた。

(2) 事業課題の解決について

設定していた課題は、①景観の阻害による街全体のイメージ形成への支障、②案内表示の分かり難さによる利便性の低下、という点であった。どちらも1年間の活動では具体的な解決には至っていないが、松戸市の街歩きルートを活用し、市内の様々なエリアにおけるサインの現状を把握することができた。この際、観光系のサイン（街歩きルート上の施設案内、大規模な公園緑地の案内、文化会館等の公共施設案内、等）と併せて生活系のサイン（ゴミ集積所、避難所、駐車禁止、喫煙禁止、市民センター等の普段利用する施設の案内、等）に関する視認性やユニバーサルデザイン、劣化状況等の現状も広く把握することができたため、次年度以降の活動で①②の課題解決に向けた活動を行うことができた。

5 今後の事業展開

松戸市の都市計画課との連携を視野に入れ、ランドスケープを学ぶ者としての視点と一市民としての視点の双方を活かした活動を継続していきたい。また、現在のメンバーは学生のみにとどまっているため、市内の他市民団体や個人、さらには民間企業とも連携し、多様なアプローチで公共サインを捉え、松戸市のまち全体のバージョンアップを目指す活動を行っていきたいと考えている。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 18,026	¥ 15,288	¥ 2,738	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	会費収入	¥ 3,500	¥ 4,500	¥ ▲1,000	500円*9人
	自己資金の合計額 (A)	¥ 21,526	¥ 19,788	¥ 1,738	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 121,526	¥ 119,788	¥ 1,738	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 25,000	¥ 25,000	¥ 0	外部講師謝礼
	消耗品費	¥ 80,750	¥ 78,261	¥ 2,489	プリンク用トナーカートリッジ、書籍他
	食糧費	¥ 4,500	¥ 1,911	¥ 2,589	外部講師水代、ディスカッション参加者用お茶・菓子
	保険	¥ 1,400	¥ 3,000	¥ ▲1,600	行事保険 (事例視察) 500円×6人
	通信費	¥ 1,476	¥ 0	¥ ▲3,000	
	使用料	¥ 0	¥ 3,000	¥ ▲3,000	施設利用費 (岩瀬自治会館)
	対象経費の合計 (D)	¥ 113,126	¥ 111,172	¥ 1,954	
(その他経費)	食糧費	¥ 7,000	¥ 5,400	¥ 1,600	昼食・お茶代 6人分
	活動保険	¥ 1,400	¥ 0	¥ 0	
	学会発表登録費	¥ 0	¥ 3,000	¥ ▲3,000	日本造園学会関東支部大会 ポスター発表
	振り込み手数料	¥ 0	¥ 216	¥ ▲216	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 8,400	¥ 8,616	¥ ▲216	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 121,526	¥ 119,788	¥ 1,738	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 都市環境デザイン学研究室 公共サイン研究会

代表者氏名 会長 湯浅 かさね

収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	団体拠出金	¥ 15,288		
	会費収入	¥ 4,500	500円*9人	
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合 計 額		¥ 119,788		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 25,000	25,000円×1回	外部講師謝礼 講師名 機能澄人氏 25,000円×1回
	消耗品費	¥ 78,261	プリント用紙3色53,100円、書籍6冊18,570円他	ポスター、チラシ、活動記録印刷用、報告書作成用他
	食糧費	¥ 1,911		講演会講師水代、ディスカッション参加者用お茶・お菓子 1回
	保険	¥ 3,000	500円×6名×1日	国内旅行保険（国内旅行傷害保険特約セット普通傷害保険）、横浜市現地調査
	使用料	¥ 3,000	1,000円×3時間	会場使用料 岩瀬自治会館集会所
	対象経費の合計	¥ 111,172		
その他経費	食糧費	¥ 5,400	700円*6人 200円*6人	昼食代 700円*6人 (4,200円) お茶代 200円*6人 (1,200円)
	学会発表登録費	¥ 3,000	ポスター発表3,000円×1件	日本造園学会関東支部大会 ポスター発表
	振り込み手数料	¥ 216	1回	ヤトロ電子(株)へ（トナー、A4用紙代）
	その他経費の合計	¥ 8,616		
合 計 額		¥ 119,788		

活動状況報告書

1 事業名称 認知症を吹き飛ばせ！健康寿命を延ばそう事業

2 実施主体

■ 団 体 名： 介護予防と認知症サポートの会「しゃぼん玉倶楽部」

3 事業の実施内容

I 医療関係者による講演会の実施

日 付	作 業 内 容
4月15日	講座立案・企画 市の広報掲載依頼（6月1日号）
5月1日～25日	チラシの企画及び作成 関係先へ訪問
5月12日	チラシの印刷
5月1日～25日	講座準備
6月2日	講座の開催 六実市民センター 講師・聖隷佐倉市民病院医師 持田英俊氏 参加者 50人

II 介護経験家族による勉強会

日 付	作 業 内 容
11月23日	介護経験家族をお招きしての相談交流会 六実市民センター 内部講師・青木氏、片桐氏、新屋氏 参加者 3人

III 介護予防教室の実施

①無料体験会

日 付	作 業 内 容
5月1日～25日	講座立案・企画
5月15日～25日	チラシの企画及び作成 関係先へ訪問
5月15日	チラシの印刷
5月20日～25日	講座準備
6月7日	講座の開催①六実市民センター参加者 15人 内部講師・片岡千鶴子

②個別対応型介護予防教室 「頭と体と心のシニアサロン」

日 付	作 業 内 容
6月10日	自宅サロンにて参加者3人
7月12・15日	自宅サロンにて参加者計3人
8月2・5日	自宅サロンにて参加者計3人

③出張型介護予防教室の実施

日 付	作 業 内 容
7月14日	白井市南山団地自治会館 参加者5人

IV イベントの実施

11月23日	介護予防ワイヤー制作教室&介護経験家族相談交流会 六実市民センター 参加者3人 講師・ワイヤクラフト協会認定講師 清水幸子、中川奈緒美
12月14日	介護予防ワイヤー制作教室 六実市民センター 参加者3人 講師・ワイヤクラフト協会認定講師 清水幸子、中川奈緒美
1月26日	笑いヨガ&コグニサイズ 六実市民センター 参加者6人 講師・笑いヨガティーチャー菊池陽子、内部講師 片岡千鶴子
2月 4日	終活お話会 六実市民センター 参加者1人 講師・信隆寺坊主 小山久子
3月26日	六実・六高台シニア交流お茶会 六実市民センター 参加者16人 講師・放射線技師兼FP内田茂樹、(有)あすなるホーム 新井ゆり子、笑いヨガティーチャー 菊池陽子

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

この一年で多くのイベントを通じ、町会長、民生委員、地域の高齢者相談協力員などと協力して活動を広めることが出来ました。出張型介護予防教室が思うように行えなかったため、年度後半から別の形で個別に対応出来るように内容を変更した。その結果、問題点や今後の方針なども少しずつ見えてきたので次年度以降それらの点を踏まえてさらに効果的な活動をしたいと考えております。

(2) 事業課題の解決について

①認知症サポートの会の存在を地域の方々に知って頂くことが出来ました。引き続き団体の活動案内を継続し多くの困っている方々に参加していただきたいです。

②市民自身での市民のための介護予防は多くの方々にその意識が浸透しつつあると思われます。多くの介護予防メニューをご紹介したことで仲間同士での活動の中で活かしていただきたいと思ひます。

5 今後の事業展開

地元密着型のシニアサポート団体として、町会と協力しながら市民センターなどで季節毎のイベントを開催したり、自宅サロンは気軽に立ち寄っておしゃべりや情報交換ができるスペースとして利用してもらいたいと思ひております。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 0	¥ 16,000	¥ ▲16,000	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 60,000	¥ 19,400	¥ 40,600	参加料(延人数85人)
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 60,000	¥ 35,400	¥ 24,600	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 160,000	¥ 135,400	¥ 24,600	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 68,000	¥ 31,000	¥ 37,000	外部講師謝礼
	食糧費	¥ 4,000	¥ 11,851	¥ ▲7,851	講師昼食代
	印刷製本費	¥ 10,000	¥ 9,740	¥ 260	広報チラシの印刷代
		¥ 30,000	¥ 1,460	¥ 28,540	パンフレットの印刷代
	消耗品費	¥ 19,340	¥ 70,433	¥ ▲51,093	文具代
	使用料	¥ 5,160	¥ 470	¥ 4,690	会場使用料
	通信費	¥ 8,500	¥ 450	¥ 8,050	切手代
	広告費	¥ 0	¥ 3,996	¥ ▲3,996	折込広告代
		対象経費の合計(D)	¥ 145,000	¥ 129,400	¥ 15,600
	交通費	¥ 15,000	¥ 0	¥ 15,000	
	内部講師費	¥ 0	¥ 6,000	¥ ▲6,000	内部講師謝礼
	その他経費の合計額 (E)	¥ 15,000	¥ 6,000	¥ 9,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 160,000	¥ 135,400	¥ 24,600	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 介護予防と認知症サポートの会「しゃぼん玉倶楽部」

代表者氏名 代表 片岡 千鶴子



収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	団体拠出金	¥ 16,000		
	事業収入	¥ 19,400	19,400	個別教室 500円×9人、出張教室500円×5人、11/23 1000円×3人、12/14 1000円×3人、1/26 500円×6人、2/4 200円×1人、3/26 200円×16人
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 135,400		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 31,000	11,000	6/2 講師謝礼 講師名 持田氏1,000円
				スタッフ謝礼 渡辺氏 大木氏 田中氏 池田氏 藤田氏 2000円×5
			2,000	1/26 講師謝礼 菊池氏2000円
			12,000	2/4 講師謝礼 小山氏2000円 清水氏 中川氏 5000円×2
			6,000	3/26 講師謝礼 菊池氏 内田氏 新井氏 2000円×3
	食糧費	¥ 11,851	11,851	昼食・お茶代 6/2 4575円 11/23 2982円 12/14 1735円 2/4 1318円 3/26 1241円
	印刷製本費	¥ 11,200	10,970	広報チラシの印刷代 (6/2 1500部) (出張教室チラシ1000部) (教室チ ラシ600部) (お茶会チラシ200部)
			230	コピー代
	消耗品費	¥ 70,433	70,433	テキスト代2860円 介護予防教室体操ボール代6442円 文具代18258円、インク代7012円 ワイヤー資材代31544円 体操用タオル代4317円
	使用料	¥ 470	470	会場使用料 6/2六実市民センター第2和室210円 3/26六実市民センター第3会議室260円
通信費	¥ 450	450	郵便代390円(1/26関係書類を講師へ送 付) 切手代20円×3枚 (2/4資料を参 加者へ送付)	
広告費	¥ 3,996	3,996	新聞折込代 3.7円×1000枚(+税)	
対象経費の合計		¥ 129,400		
内部講師費	¥ 6,000	2,000×3	青木氏、片桐氏、新屋氏 2000円×3	
その他経費の合計		¥ 6,000		
合計額		¥ 135,400		

活動状況報告書

1 事業名称 医療・介護・福祉を学ぶ会事業

2 実施主体

 ■ 団 体 名： 千葉県 東葛介護・福祉塾

3 事業の実施内容

 学ぶ会・拡大学ぶ会・学ぶ会校外学習の実施

日 付	作 業 内 容
4月1日	役員会 会場：新松戸中央総合病院会議室 今後テーマ案についての打合せ
4月6日	「みんなの終活 知らないと損をする葬儀業界のお話」 講師：上級終活カウンセラー 相原氏 参加者 24名 会場：松戸市勤労会館 告知方法：Facebook、市民自治課掲示
5月26日	拡大学ぶ会「がん 専門医が伝える最新医療と予防法」 講師：新松戸中央総合病院 松尾院長 参加者 27名 会場：松戸市勤労会館 告知方法：ちいき新聞、Facebook、市民自治課掲示、広報まつど
6月9日	「知っておきたい がんと闘うお金のこと」 講師：がん研有明病院 内田氏 参加者 24名 会場：松戸市勤労会館 告知方法：ちいき新聞、Facebook、
7月14日	「介護ロボット・生活支援ロボットの動向と導入支援について」 講師：株式会社モビリカ 小川氏 参加者 18名 会場：松戸市勤労会館 告知方法：Facebook、市民自治課掲示
8月17日	「若いうちから将来介護を必要としない身体づくりとは」 講師：介護予防士 藤田氏 参加者 13名 会場：松戸市勤労会館 告知方法：Facebook
9月8日	「お元気なうちから考える高齢者の住まい」 講師：NPO法人あゆみ協会 雲井氏 参加者 15名 会場：松戸市勤労会館 告知方法：Facebook、

10月6日	<p>拡大学ぶ会「脳卒中のお話 予防と新しい治療法」</p> <p>講師：千葉西総合病院 熊井先生</p> <p>参加者 24名 会場：松戸市勤労会館</p> <p>告知方法：Facebook、ちいき新聞</p>
11月10日	<p>「勇気を出して応急手当」</p> <p>講師：松戸西口消防署</p> <p>参加者 20名 会場：松戸市勤労会館</p> <p>告知方法：Facebook</p>
12月8日	<p>「高齢化に伴う空き家対策とお金のこと」</p> <p>講師：誠実不動産 山口氏</p> <p>参加者 14名 会場：松戸市勤労会館</p> <p>告知方法：Facebook</p>
1月12日	<p>拡大学ぶ会「松戸市の在宅医療について」</p> <p>講師：あおぞら診療所 川越院長</p> <p>参加者 17名 会場：松戸市勤労会館</p> <p>告知方法：Facebook</p>
2月9日	<p>「自分と家族の旅たち（看取り）について考える」</p> <p>講師：看護師・看取り士 山本氏</p> <p>参加者 8名 会場：松戸市勤労会館</p> <p>告知方法：Facebook</p>
2月18日	<p>学ぶ会 校外学習「松戸市内 介護施設見学会」</p> <p>参加者 6名</p> <p>見学先：特別養護老人ホーム 親愛の丘</p> <p>見学先：有料老人ホーム ボンセジュール北松戸</p> <p>告知方法：Facebook</p>

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

目標会員 100 名は達成できず、大変悔しい結果となりました。

(助成事業開始時は 42 名、終了時は 64 名。)

また松戸市内企業向け認知症サポーター養成講座につきましては、私自身のネットワークがなく開催ができませんでした。

ただし各会毎のアンケートでは「テーマ」についての大変良い・良いが、90%近く回答いただけたことは良かった点かと思えます。

(2) 事業課題の解決について

松戸市民が「超高齢社会の松戸市」に興味を持って頂く点について。助成事業開始時より、新会員の 14 名が医療・介護職ではない市民の方でした。また新会員のうち 9 名が現役世代市民という点は、「現役世代の市民に関心を持って頂く」という課題について、前向きに考えます。

この会参加をきっかけに、傾聴ボランティア参加 1 名、介護施設へのボランティア参加 3 名、市内での認知症カフェ開催検討者 1 名と微力ですが、地域の超高齢社会問題へ関心を持たれています。

多職種連携では、総合病院相談員と地域のケアマネージャーが会参加をきっかけに交流が始まり、それぞれの業務でも繋がりが持てたという声がありました。

講師側より「私たちも地域講演の機会を探していた」という声もありました。

他団体にも所属している参加者との繋がりに、別地域での講演活動にも繋がったとのことで、この点も講演活動の広がりにも貢献できたと感じています。

5 今後の事業展開

仕事との両立が難しく、助成終了後は一旦活動を休止致します。

また、(2) の会参加をきっかけとした新しい交流が始まっていますので、微力ですがサポートできれば考えております。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	事業収入	¥ 39,000	¥ 11,600	¥ 27,400	100円*116人(参加料)
	事業収入	¥ 10,000	¥ 6,800	¥ 3,200	100円*68人(参加料)
	事業収入	¥ 5,000	¥ 0	¥ 5,000	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 54,000	¥ 18,400	¥ 35,600	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 29,102	¥ 70,898	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 154,000	¥ 47,502	¥ 106,498	

【事業費の支出額(支出)】

科目		予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 75,000	¥ 45,000	¥ 30,000	外部講師謝礼
	会場使用料	¥ 22,360	¥ 2,070	¥ 20,290	690円×3時間×1回
	会場使用料	¥ 1,920	¥ 0	¥ 1,920	
	印刷費	¥ 7,500	¥ 432	¥ 7,068	チラシ印刷用紙 500枚
	印刷費	¥ 1,500	¥ 0	¥ 1,500	
	印刷費	¥ 500	¥ 0	¥ 500	
	印刷費	¥ 15,000	¥ 0	¥ 15,000	
	材料費	¥ 2,000	¥ 0	¥ 2,000	
	消耗品	¥ 21,600	¥ 0	¥ 21,600	
	対象経費の合計 (D)		¥ 147,380	¥ 47,502	¥ 99,878
(その他対象外経費)	役員会会場使用料	¥ 1,620	¥ 0	¥ 1,620	
	ガソリン代	¥ 4,000	¥ 0	¥ 4,000	
	ドライバー保険	¥ 1,000	¥ 0	¥ 1,000	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 6,620	¥ 0	¥ 6,620	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 154,000	¥ 47,502	¥ 106,498	

・【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 70,898
-----	----------

団体名

千葉県東葛介護・福祉塾

代表者氏名

代表 武井厚司

収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	事業収入	¥ 11,600	100円*116人	参加者 延べ116名
	事業収入	¥ 6,800	100円*68人	参加者 延べ68名
市	市民活動助成金	¥ 29,102		
合 計 額		¥ 47,502		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の 交付対象 経費	報償費	¥ 45,000	15000円*3回	拡大学ぶ会 外部講師謝礼 新松戸中央総合病院 松尾亮太院長15000円×1回 千葉西総合病院 熊井潤一郎先生 15000円×1回 あおぞら診療所 川越正平院長 15000円×1回
	印刷費	¥ 432	チラシ印刷	チラシ印刷用紙 500枚 役員による印刷紙無償提供や一部講師によるレジメ 印刷協力、参加者各自での印刷、メールでのアン ケート配布など。
	会場使用料	¥ 2,070	690円*3時間*1回	第1回学ぶ会 会場使用料 松戸市勤労会館 会議室BC 第2回より公用扱いのため費用発生なし。
	対象経費の合計	¥ 47,502		
その 他 経 費				
	その他経費の合計	¥ 0		
合 計 額		¥ 47,502		

活動状況報告書

- 1 事業名称 河原塚史編纂事業
- 2 実施主体 河原塚史編纂委員会

3 事業の実施内容

I 河原塚四町会への回覧配布

日 付	作 業 内 容
4月	4つの町会の生い立ち
5月	大活躍の河原塚消防団
6月	大自然のなかで遊んだ
7月	女の子も外で遊んだ
8月	いまでも残る方言
9月	小字と橋の名前の由来
10月	旧家のルーツと屋号、家紋
11月	旧家に伝わる料理
12月	座談会、努力と感動の4年間

II 冊子の発行等

日 付	作 業 内 容
6月	河原塚三町会から協賛金申し出
7月	冊子発行部数の把握、決定。千葉日報社に原稿提出。
8月	千葉日報社と出版契約
9月	個人・事業所への協賛金依頼。9月1日から30日
10月	ゲラの校正。
11月	新聞社、市役所広報課から取材。
12月	冊子2300部完成、発行。三町会員宅に1340部配布。
1月	新聞3社にて事業が紹介される。20日南山自治会館にて基調報告、座談会実施、参加者約30名。29日松戸伊勢丹にて出版記念式、参加者58名

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

地域の歴史を調べて、住民に提供することを通じ、地域に愛着をもって住民同士の融和を図るとともに、冊子にして後世に末永く伝えることを目的とした事業です。

28年度の目標である四町会への回覧配布は予定通り実施できた。同時に並行して冊子発刊に取り組み、当初の目的通り、回覧の最終配布と発行が同時に実現できたことは自負できる。新聞で事業が紹介されたことは委員にとっての大きな喜びとなりました。

(2) 事業課題の解決について

無償配布を決定してからは資金の確保が大きな課題であった。河原塚三町会からの支援が早々と決定。個人・事業所への協賛金依頼については予想以上の反響と資金提供があり、目的達成の資金確保が容易に実現出来た。

5 今後の事業展開

冊子の発行をもってこの事業は完結しました。活動中、「地域の歴史掘り起こし活動のお手本になる」「この取り組みが他地域に波及することを期待する」等、過分の評価コメントをいただきました。市内の他地域からも「同じ取り組みをしたい」との要望が寄せられましたので、できる限り対応したいと思います。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 48,800	¥ 0	¥ 48,800	
	協賛金	¥ 500,000	¥ 800,000	¥ ▲300,000	河原塚三町会からの寄付金
	協賛金	¥ 1,000,000	¥ 2,020,000	¥ ▲1,020,000	個人・団体151件
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 1,548,800	¥ 2,820,000	¥ ▲1,271,200	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 300,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 1,848,800	¥ 3,120,000	¥ ▲1,271,200	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	冊子発行経費	¥ 1,750,000	¥ 2,434,320	¥ ▲684,320	2300冊*1058.4円
	印刷費	¥ 3,000	¥ 14,710	¥ ▲11,710	回覧の印刷代、コピー代
	消耗品費	¥ 61,000	¥ 40,252	¥ 20,748	用紙、インク代、封筒代
	通信費	¥ 1,800	¥ 20,028	¥ ▲18,228	切手代、書籍送料
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計(D)	¥ 1,815,800	¥ 2,509,310	¥ ▲693,510	
(その他経費)	食糧費	¥ 25,000	¥ 81,901	¥ ▲56,901	
	交通費、資料代他	¥ 8,000	¥ 49,949	¥ ▲41,949	
	出版記念式費用	¥ 0	¥ 478,840	¥ ▲478,840	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 33,000	¥ 610,690	¥ ▲577,690	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 1,848,800	¥ 3,120,000	¥ ▲1,271,200	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名

河原塚史編纂委員会

代表者氏名

代表幹事 矢野 浩

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	団体拠出金	¥ 0		
	協賛金	¥ 800,000		河原塚三町会からの寄附金
	協賛金	¥ 2,020,000		個人・団体151件
市	市民活動助成金	¥ 300,000		
合計額		¥ 3,120,000		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の 交付対象経費	冊子発行経費	¥ 2,434,320	2300冊	『わが街河原塚 いまと昔の物語』
	印刷費	¥ 14,710	4月から12月	回覧の印刷代, コピー代
	消耗品費	¥ 40,252		用紙、インク代、封筒代
	通信費	¥ 20,028		切手代、書籍送料
	対象経費の合計	¥ 2,509,310		
その他経費	食糧費	¥ 81,901		
	交通費、資料代他	¥ 49,949		
	出版記念式	¥ 478,840		
	その他経費の合計	¥ 610,690		
合計額		¥ 3,120,000		

活動状況報告書

- 1 事業名称： 「高校進学のための学力アップ教室」事業
- 2 実施主体： 認定 NPO 法人 外国人の子どもための勉強会
- 3 事業の実施内容

松戸市の外国人中学生は県立高校受験の際、前期試験で作文と面接で受験できる外国人枠を利用するケースが多い。しかし、受け入れ人数は少なく、この試験で合格できないと後期試験で日本の生徒と同様に教科で受験しなければならない。しかも高校入学後に向けて学力を上げておかなければならない。そこで当会は外国人受験生に向けての支援を行うことにした。

今回の事業のスタッフとして当会会員のほか、日本人および外国人大学生、社会人にも呼びかけた。

生徒数：23名（中国12名、フィリピン7名、ロシア1名、インドネシア1名、ジャマイカ1名、ベトナム1名）

スタッフ：国語 10名、 数学 10名、 英語 11名

1、 スタッフ研修事業

日 付	作 業 内 容
4月2日（土）	第1回打ち合わせ
5月14日（土）	第1回研修会（国語） 講師：多文化共生センター榎木典子氏 会場：ゆうまつど 参加者：28名
5月22日（日）	第2回打ち合わせ
6月12日（日）	第2回研修会（英語）講師：同センター西村眞里子氏、千田綾氏 会場：ゆうまつど 参加者：24名
同日	第3回打ち合わせ
7月10日（日）	第3回研修会（数学）講師：同センター榎木典子氏、佐藤徳雄氏 会場：ゆうまつど 参加者23名
同日	第4回打ち合わせ
10月21日（金）	多文化共生センター東京の授業見学（7名）

2、 日曜教室事業（国語、数学、英語）

日 付	作 業 内 容
6月28日（火）	生徒募集のチラシを教育委員会経由で市内中学校に配布依頼
7月21日（木）	国際交流協会の会報にチラシ同封
8月1日（月）	広報まつどに生徒募集記事掲載
8月22日（日）	当会スタッフ、学生スタッフのためのオリエンテーション
9月4日（日）	日曜教室スタート（全24回） 9/4, 25, 10/16, 11/6, 27, 12/18, 1/22, 2/12（国語） 9/11, 10/2, 23, 11/13, 12/4, 1/8, 1/29, 2/19（数学） 9/18, 10/9, 30, 11/20, 12/11, 1/15, 2/5, 26（英語）
11月12日（土）	日曜教室中間検討会（3教科）

3、 冬休み教室事業（作文・面接、教科指導）

日 付	作 業 内 容
12月15日（木）	冬休み教室準備会
	冬休み教室スタート（6回の作文指導と教科指導） 12/24, 25, 26, 27, 28, 1/4
3月12日（日）	まとめの会

4、 事業成果について

（1） 事業目的の達成について

スタッフのスキルを磨くための研修は、3回とも具体的で実践に大変役立つと好評だった。また大学生、社会人スタッフの協力により、マンツーマン、あるいはそれに近い形で指導体制が組めた。3教科ともに初回に学力テストを行い、実力に応じた指導者、学習法を準備した。

国語は毎回プリントを用意し、文法、敬語、漢字、読解、作文の力を養った。最終日にテストを受けた6人はすべて総合点が上がった。

数学は過去問をもとにオリジナル問題27題をつくり、できない問題は指導者がつききりで教えた。その結果、最終回までに全員が正解数を増やした。

英語は毎回分野別の問題をつくり、基礎力の徹底を図った。その結果、特にリスニング力が上がり、志望校合格に結びついた生徒もいる。

生徒の多くは丁寧な指導で楽しく学習ができたとの感想を寄せている。

（2） 事業課題の解決について

日本語力、学力をアップさせるという課題を解決するには積み重ねと時間が必要である。3教科8回ずつの指導、6回の作文指導では十分ではないが、その端緒につくことができた。教科の種類、回数、授業時間、成果については見直す余地がある。

生徒募集では中学校へのチラシ配布ではほとんど反応がなかったが、高校の学校説明会でこの事業を知った生徒もいた。告知方法について再考したい。

5、 今後の事業展開

今年度の高校入試では、当教室の生徒20名が受験し、10名が第1志望校への合格を果たし、そのほかの生徒も着実に進路を決めた。日本語が不十分な生徒たちにとって、高校受験は大変な試練だった。

外国人の子どもは、これから増えるであろうと言われている。日本社会でも大切な存在になるその子どもたちの将来のためにも、この事業は終わらせるわけにはいかない。

次年度は教科の種類、回数、指導方法などを見直し、告知方法も工夫しつつ事業を継続していきたいと考えている。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	当勉強会からの拠出金	¥ 52,200	¥ 59,397	¥ ▲7,197	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 52,200	¥ 59,397	¥ ▲7,197	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 300,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 352,200	¥ 359,397	¥ ▲7,197	

【事業費の支出額(支出)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 250,000	¥ 215,000	¥ 35,000	外部講師謝礼、外部スタッフ日当
	会場使用料	¥ 16,000	¥ 18,070	¥ ▲2,070	研修会、教室会場
	書籍購入費	¥ 17,000	¥ 42,418	¥ ▲25,418	学力テスト用、授業用
	通信費	¥ 700	¥ 488	¥ 212	郵便代
	消耗品費	¥ 15,000	¥ 14,363	¥ 637	コピー用紙、インク、文房具
	印刷製本費	¥ 30,000	¥ 31,965	¥ ▲1,965	テスト、教材、スタッフ資料
	食糧費	¥ 500	¥ 440	¥ 60	講師お茶
	保険代	¥ 18,000	¥ 18,039	¥ ▲39	ボランティア行事保険、労災保険
	対象経費の合計(D)		¥ 347,200	¥ 340,783	¥ 6,417
(対象外経費)	交通費	¥ 5,000	¥ 7,000	¥ ▲2,000	研修会電車賃
	食費	¥ 0	¥ 10,079	¥ ▲10,079	スタッフ会議軽食・教室終了会生徒軽食
	印刷製本費	¥ 0	¥ 675	¥ ▲675	
	会場費	¥ 0	¥ 860	¥ ▲860	
	その他経費の合計額 (E)		¥ 5,000	¥ 18,614	¥ ▲13,614
合計額 (F) = (D+E)		¥ 352,200	¥ 359,397	¥ ▲7,197	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 額の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 額が、「対象経費 (D) 額の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ -
-----	-----

団体名 認定NPO法人
 代表者氏名 外国人の子どものための勉強会
 理事長 海老原みどり

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	当勉強会拠出金	¥ 59,397		
市	市民活動助成金	¥ 300,000		
合計額		¥ 359,397		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 215,000	10000×3回 5000円×1回 3000円×60回	外部講師謝礼(多文化共生センター) 共生センター授業研修謝礼 学生スタッフ日当延べ60回
	会場使用料	¥ 18,070	ゆうまつど 11,680円 勤労会館 6390円	スタッフ研修会3回、外部スタッフオリエンテーション、授業会場
	書籍購入費	¥ 42,418	教材 29,606円 高校進学資料12,812円	「留学生の為の日本語」「実力突破英語」 「全科まとめて」他各教科ドリル
	通信費	¥ 488		チラシ送付郵便代・外部スタッフ領収書送付
	消耗品費	¥ 14,363	コピー用紙9872円・ ノート1447円・ファイル216円他	コピー用紙、PCインク代、封筒、 生徒学習用ノート、
	印刷製本費	¥ 31,965		テスト、教材、スタッフ資料等の印刷代
	食糧費	¥ 440		講師お茶
	保険代	¥ 18,039	行事保険560円×30日 労災保険費用 1239円	ボランティア行事保険、労災保険、 登記簿謄本（労災保険添付用）
	対象経費の合計	¥ 340,783		
その他経費	交通費	¥ 7,000	1000円×7人	多文化フリースクール授業見学研修 (松戸～町屋～小台)
	会議軽食	¥ 10,079		打合せ会議軽食・教室終了会生徒軽食
	印刷製本費	¥ 675		打ち合わせ資料
	会場費	¥ 860		打ち合わせ会議
	その他経費の合計	¥ 18,614		
合計額		¥ 359,397		

活動状況報告書

1. 事業名称 地域連携による成年後見制度の普及・啓発・利用促進事業

2. 実施主体 認定NPO法人東葛市民後見人の会

3. 事業の実施内容

(1) 講演会の実施

日付	作業内容
4月14日	松戸市、松戸市社会福祉協議会他後援申請書を提出
5月初め	講師の斎藤修一先生体調不良により6月の講演会の開催断念
5月10日	事業後援申請の取り下げ
6月1日以降	新松戸地区での開催方法、会場について検討
8月1日	支部会にて流通経済大学を会場として3月の土曜日開催で検討する旨決定
8月10日	新松戸地区高齢者支援連絡会、地域包括支援センターと打ち合わせ
9月8日	3月4日(土)、流通経済大学新松戸校舎、講師浅川澄一先生で実施決定
10月5日	松戸市、松戸市社会福祉協議会他事業後援申請書の提出
10月18日	まつど市民活動サポートセンターにて講演会の募集チラシ印刷
11月15日	新松戸地区高齢者支援連絡会、地域包括支援センターチラシ配布依頼
12月11日	まつどみらい会議にてチラシ配布
12月21日	市の広報誌掲載依頼(2月1日号)
1月23日	募集チラシ追加印刷
2月6日支部会	役割分担、印刷スケジュールなど打ち合わせ
2月17日	流通経済大会会場確認
2月14日	新松戸高齢者支援連絡会、地域包括支援センター、当会の3団体打ち合わせ
3月2日	プログラム、レジメ等の印刷(まつど市民活動サポートセンター)
3月4日	講演会の開催: 120名の参加

(2) 講習会・相談会の実施

5月9日支部会	小金原地区講習会: 10月29日(土) 講師: 遠藤英嗣先生で決定
5月9日	相談会: 5月25日(水) 小金原市民センターで開催計画
5月25日	相談会の開催(小金原市民センター)
6月6日支部会	相談会: 6月22日(水) 勤労会館開催計画
6月6日支部会	相談会兼ビデオセミナー: 9月17日(土) 常盤平市民センター開催計画

6月22日	相談会の開催（勤労会館）
6月24日	小金原地域包括支援センター浅沼センター長：10月29日講習会協力依頼
6月30日	小金原高齢者支援連絡会、根津会長：10月29日講習会協力依頼
7月4日支部会	相談会：7月28日（水）商工会議所で開催計画
7月4日支部会	稔台講習会：10月1日（土）講師：宮田圭佑司法書士で計画
7月28日	相談会の開催（勤労会館）
8月1日支部会	いらはら診療所グループ講習会 11月ころの開催で検討開始
8月29日	いらはら診療所グループ講習会について打ち合わせ（Gホームさざんか）
9月5日支部会	いらはら診療所グループ講習会11月14日で計画
9月5日支部会	相談会：11月24日（木）商工会議所で計画
9月15日	広報誌への掲載（10月1日稔台市民センター講習会）
9月17日	相談会兼ビデオセミナーの開催（常盤平市民センター）
10月1日	広報誌への掲載（10月29日小金原講習会）
10月1日	講習会の開催（稔台市民センター）講師：宮田司法書士
10月3日支部会	10月29日講習会の役割分担、レジメ印刷作業について打ち合わせ
10月25日	講習会のレジメ印刷（まつど市民活動サポートセンター）
10月29日	講習会の開催（小金原市民センター）講師：遠藤英嗣先生
11月24日	相談会の開催（商工会議所）

（3）市民後見人養成講座の実施

5月9日支部会	日程、1月14日、21日、28日、2月4日の4日間、商工会議所で検討
5月中	会場の松戸商工会議所に利用申し入れ
7月	1月28日は商工会議所の定例の利用と重なるので日程の要変更
8月1日支部会	日程、1月14日、21日、2月4日、2月11日で決定
8月～	カリキュラムの検討、講師の都合問合せ、募集チラシの検討など
9月5日支部会	①講演依頼先の検討：松戸市、社協、さわやか福祉財団、県生涯大学 ②開催記事の掲載：市広報誌、月刊新松戸他③作業スケジュールの確認など
9月29日	募集チラシ（2,000枚）の印刷（まつど市民活動サポートセンター）
10月3日支部会	チラシの配布方法、スケジュールなどについて打ち合わせ
10月5日	松戸市及び松戸市社会福祉協議会への事業後援申請書提出
10月10日頃	後援申請：千葉県生涯大学
10月13日	市の広報誌への掲載依頼（12月1日号）
10月29日	小金原市民センター講習会でチラシ配布
11月21日	認定NPO法人たすけあいの会ふれあいネットまつどにチラシ配布依頼
11月下旬	社会福祉協議会：チラシの配布依頼
11月下旬	市民自治課：チラシの配布依頼
12月1日	市の広報誌に募集記事掲載

12月1日	月刊新松戸に募集記事掲載
12月1日	朝日まつど新聞に募集記事掲載
12月5日	定年時代に募集記事掲載
12月11日	まつどみらい会議でチラシ配布
12月14日	社協オレンジ研修会（市民劇場）でチラシ配布
12月15日	柏支部主催講演会（アミューゼ柏）でチラシ配布
12月中	「第14回市民後見人養成講座プログラム」の作成
12月31日	32人の方から参加申し込み
1月9日支部会	役割分担、レジメ作業スケジュール等打ち合わせ
1月11日	1月14日使用レジメの印刷（まつど市民活動サポートセンター）
1月14日	第14回市民後見人養成講座の開催（参加者27名）
1月17日	1月21日使用レジメの印刷（まつど市民活動サポートセンター）
1月21日	養成講座2日目開催
1月31日	2月4日使用レジメの印刷（まつど市民活動サポートセンター）
2月4日	養成講座3日目開催
2月6日支部会	2月11日最終日についての打ち合わせ
2月7日	2月11日使用レジメの印刷（まつど市民活動サポートセンター）
2月11日	養成講座最終日開催

(4) 講演会、講習会・相談会、市民後見人養成講座開催状況一覧表

①相談会

	日付	場所	依頼人（敬称略）
1	4月28日	勤労会館会議室	来談者無し
2	5月25日	小金原市民センター	男性（80歳）
3	6月3日	小金原市民センター	男性（80歳）
4	6月22日	勤労会館会議室	男性（69歳）
5	7月13日	商工会議所	女性（60歳代）
6	7月28日	商工会議所	男性（69歳）
7	9月17日	常盤平市民センター	申込無し
8	10月1日	稔台市民センター	申込無し
9	10月29日	小金原市民センター	支援者からの相談
10	11月24日	商工会議所	女性（83才）

②講演会・講習会

No.	事業名	実施日時・会場	実施内容
①	講演会	・29年3月4日14時～16時 会場:流通経済大学新松戸校舎	演題:「いつまでも住み慣れた場所で自分らしく暮らせるように!」 講師:浅川澄一先生 共催:・新松戸地区高齢者支援連絡会 ・新松戸地域包括支援センター 参加者120名
②	講習会	・(1)10月1日(土) 14時～16時 会場:稔台市民センター ・(2)10月29日(土) 14時～16時 会場:小金原市民センター ・(3)11月14日(月) 15時～16時 いらはら診療所(実幸会)グループ講習会 会場:生活介護サービス(株)会議室	演題:「知って安心老後のあなたを支える制度、成年後見制度、遺言・相続」 講師:宮田圭佑司法書士 参加者:19名 *チラシの配布等で東京ベイ信金地域サポート部にご協力いただく 演題:「年をかさねても安心して暮らしていくために!」～成年後見制度を学びましょう～ 講師:遠藤英嗣弁護士 共催:小金原地域包括支援センター ・後援 小金原地区高齢者支援連絡会 参加者:53名 「利用者様の後見申立てから決定までの手続きと流れ」 講師:当会、堀井 参加者:社長ほか7名
③	市民後見人養成講座	・29年1月14日(土)、21日(土)、2月4日(土)、11日(土)の4日間 会場:松戸商工会議所	第14回市民後見人養成講座 参加者:28名 1日目:開会の挨拶:「成年後見制度と市民後見活動」、「成年後見制度の法律の仕組み」他、2日目:「障害者の身上監護」他、3日目:「介護保険制度について」、「認知症の正しい理解と対応の仕方」他、4日目:「市民後見が後見制度の主役」、「品川区における法人後見の取組と事例・市民後見人の育成の意義など」、「修了証書授与」他

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

講演会、講習会、相談会、市民後見人養成講座の開催実施については、上記表の通りほど計画通り実施できました。

①講習会

* 10月1日の講習会（稔台市民センター）

できれば東京ベイ信金との共同主催を希望したが先方組織内の取りまとめが間に合わず、参加募集におけるチラシ配布等の協力を止まりましたが、稔台市民センターにて予定通りの講師及びテーマにて開催することができました。参加者は19人に止まりました。

* 10月29日の講習会（小金原市民センター）

予定通り地元の小金原地区高齢者支援連絡会の後援を得て、小金原地域包括支援センターとの共催という形式で、遠藤英嗣先生を講師に「年をかさねても安心して暮らしていくために！」～成年後見制度を学びましょう～をテーマに講習会を開催することができました。参加者はほぼ計画通りの53名でした。講義のなかの家族信託の話は少し難しかったといわれる方も数名いましたが、初めて聞く話で大変勉強になったという方もいました。アンケートで先生の話はこれまで他の講習会で聞いた講義に比べ（実践経験に照らした話なので）聞きごたえがありました、との感想がありました。また62%の方が成年後見制度について今回初めて話を聞きましたとの回答でした。まだまだ講習会等による普及・啓発活動の必要性を感じました。

* 11月14日（土）出張講座（いらはら診療所グループ）

日常施設などで介護に携わっている方を対象にした講習会でしたので、具体的な後見申立て手続き及びその注意点の話を中心に質疑応答。参加者が7名と少なかったが、通常勤務の中、先方担当者も時間をとるのが難しかったようです。但し、業務遂行のなかで成年後見制度の重要性については十分認識していただきました。

②相談会

上記開催一覧表の通り相談会を10回開催しました。相談会の中から後見受任まで至る案件はありませんでしたが、来談者の相談には、考えられる道筋を示し、今後必要であればいつでも相談に応じる旨回答しています。

③市民後見人養成講座

1月14日、21日、2月4日、2月11日の4日間 計画通り開催することができました。

参加者は28名と計画を下回りましたが、参加した受講生はしっかりした目的意識を持った方が多く、熱心に講義を聞き、質疑応答も活発に行われました。

講座修了後、さらに次のステップのレベルアップ研修会に20名（71%）の方が参加を希望しました。また11名の方が当会に入会し一緒に市民後見活動に参加することになり、実り多い講座となりました。

④講演会

3月4日（土）流通経済大学にて開催

地元の新松戸地区高齢者支援連絡会、新松戸地域包括支援センターとの共同主催で開催しました。

両団体の積極的な協力を得、当日は当初予定の100名を超える120名の参加があり盛況でした。

講師の講義内容も時宜を得たもので、分かりやすく、参加者から提出いただいたアンケートでも「久々に素晴らしい話を伺え、今日は幸運でした。」「事例が豊富で分かりやすかった。もっと話を聞きたかった。」「介護の実態が判り、高齢者への対応が参考になった。継続講演を希望する。」などのコメントがありました。参加者にとりましても大変有益な講演になったように思います。

(2) 事業課題の解決について

①地元関係団体との連携による講演会・講習会の開催

新松戸地区における講演会の開催、及び小金原地区における講習会の開催、いずれも地区高齢者支援連絡会、地域包括支援センターとの連携を生かし、成功裡に終えることが出来ました。

今後の事業の展開にさらに生かしていきたいと考えています。

②出張講座の開催

いらはら診療所グループ（実幸会）にて予定通り開催。今後はさらに親交を深め個別案件の解決に関わり、協力できるような関係を目指していきます。

③松戸市社会福祉協議会との連携強化

28年度、当会メンバーから社協の日常生活自立支援事業の支援員に新たに2名登録し既登録者を含め計4名が登録者となっています。既に支援員として活動している者おり、社協の事業支援を通して今後成年後見制度の受任に繋げていくよう努めていきます。

④異業種との連携。

異業種との連携の難しさを痛感いたしました。

特に民間企業との連携は総論ベースでは理解できても個別具体的な段階になってきた場合、年間の収益計画、効率性が優先される企業にとり、新たな事業を受け入れてもらうのは極めて難易度が高いように感じました。今後の検討課題としては当該企業のOB会等に中間に入っただき、OB会等の仲介を通じての連携などは考えられるのではと考えています。

5. 今後の事業展開について

平成28年4月に「成年後見制度利用促進法」が制定されたところでもありますが、さらに当会の活動を推し進めていく必要があるものと考えています。

特に、①成年後見制度の周知活動、②具体的な後見受任活動、③市民後見人として活躍できる人材の育成にはこれまで以上に力をいれたいと考えています。実施していくうえで、今年度の活動成果を生かし地元の高齢者支援連絡会、地域包括支援センター、民生委員の方など地域の関係者及び社会福祉協議会との協力・連携をさらに深め、また活動の範囲を広げて成果を大きなものとしていきたいと思っています。

そのために引き続き、松戸市のお力添えをいただきたいと思います。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	東葛市民後見人の会団体拠出金	¥ 53,600	¥ 46,001	¥ 7,599	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 200,000	¥ 140,000	¥ 60,000	5,000円*28人
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 253,600	¥ 186,001	¥ 67,599	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 300,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 553,600	¥ 486,001	¥ 67,599	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 250,000	¥ 255,000	¥ ▲5,000	外部講師謝礼
	印刷製本費	¥ 76,000	¥ 30,590	¥ 45,410	チラシ及びレジメ印刷
	教材費	¥ 42,000	¥ 0	¥ 42,000	成年後見活用講座 1,050円の配布取りやめ
	消耗品費	¥ 63,000	¥ 42,588	¥ 20,412	チラシ及びレジメ用紙
	使用料	¥ 62,600	¥ 97,100	¥ ▲34,500	市民後見人養成講座の会場を松戸商工会議所で
	通信費	¥ 35,000	¥ 11,674	¥ 23,326	
		対象経費の合計(D)	¥ 528,600	¥ 436,952	¥ 91,648
(その他対象外経費)	内部講師	¥ 25,000	¥ 28,000	¥ ▲3,000	
	広告料	¥ 0	¥ 14,796	¥ ▲14,796	
	講師飲料他	¥ 0	¥ 6,253	¥ ▲6,253	
		その他経費の合計額 (E)	¥ 25,000	¥ 49,049	¥ ▲24,049
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 553,600	¥ 486,001	¥ 67,599	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0 -
-----	-------

団体名 認定NPO法人東葛市民後見人の会

代表者氏名 理事長 星野 征朗

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	東葛市民後見人の会	¥ 46,001		
	事業収入	¥ 140,000	市民後見人養成講座	5,000×28名
市	市民活動助成金	¥ 300,000		
合計額		¥ 486,001		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	1 報償費	¥ 255,000	講習会：50,000 講演会：30,000 養成講座：175,000	講習会：講師2名、講演会：講師1名 養成講座：講師7名
	2 印刷製本費	¥ 30,590	0.74円×11,000 1.32円×13,600 0.56円×8,000	講習会・相談会：印刷11,000枚 養成講座：13,600枚 講演会：8,000枚
	3 教材費	¥ 0		テキスト「成年後見活用講座」配布取りやめ
	4 消耗品費	¥ 42,588	1.65円×13,000 0.75円×19,600	チラシ印刷用紙：13,000枚=21,497円 レジメ印刷用紙：19,600枚=14,659円
				修了証書用紙：40枚=2,052円、配布資料封筒：2,760円、クリップ：1,620円
	5 使用料	¥ 97,100	1日20,035円×4日 他	市民後見人養成講座：4日間、80,140円 (商工会議所)、講習会・相談会12,550円 他
	6 通信費	¥ 11,674	講習会・相談会：5,190円 養成講座：6,484円	チラシ、プログラム送付など
	対象経費の合計	¥ 436,952		
その他経費	講師謝礼	¥ 28,000		養成講座内部講師
	広告料	¥ 14,796		
	講師飲料他	¥ 6,253		
	その他経費の合計	¥ 49,049		
合計額		¥ 486,001		